

平成31年2月13日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

調査事項

● 全国屈指の福祉先駆都市実現に向けた取組について ●

～内容～

全国屈指の福祉先駆都市を実現するために、平成31年度に重点的に取り組むべきメニューを調査するもの

～質疑～

問：虐待の発生状況はどうか。
答：虐待の可能性のある家庭も含めて90世帯を見守りとして対応している。児童の数は159人である。
問：医療体制整備部会からの報告で、歩くことで健康づくりを推進し「医療費抑制1億円を目指す。」とあるが1億円の根拠は何か。
答：国土交通省は、1日1歩当たり歩くと0.065円から0.072円の医療費が抑制できるという数字を出している。総社市健康インセンティブ事業は、1人1日普段歩いている歩数よりも2,000歩多く歩くことを目指しており、参加者が2,000人で、年間に約1億円抑制できる計算となる。
問：待機児童は何人ぐらいになりそうか。
答：予想では、20人から30人である。

当局からの報告事項

● 旧昭和児童館改修工事の進捗状況について ●

～内容～

旧昭和児童館改修工事の進捗状況について報告を受けました。

2月に屋根工事を開始し、進捗状況は2月5日現在で53%である。今後は、外壁、床、壁、天井内装などの工事になる。

～質疑～

問：排水の改修はできているのか。
答：外構の排水、また、敷地内の水はけが悪いところも改修している。床下の雨が溜まりやすいところについては、換気口の位置を変えて対応する。

● 総社小学校改築工事の進捗状況について ●

～内容～

総社小学校改築工事の進捗状況について報告を受けました。

新校舎は、予定どおり1月末に完成している。新校舎外周部分の側溝工事など、外構工事については工期を延長し、作業を行っている。工事進捗率は99%である。今後は、現校舎の解体撤去を3月から9月の間に行い、その後、運動場、駐車場、体育倉庫などの附属棟整備を行い、平成32年3月末には全工事が完了する予定である。

● 新学校給食調理場建設工事の進捗状況について ●

～内容～

新学校給食調理場建設の進捗状況について報告を受けました。

現在2階の床部分のコンクリート工事や外壁工事を行っている。工事の進捗状況は26%である。今年9月2日からの給食開始に向け、工事の完成を目指している。

今後のスケジュールは、7月に施設が完成し、新給食調理場完成の後、現在の東西調理場を平成32年3月末までに解体する予定である。

～質疑～

問：解体後の跡地利用について、地元からの要望や市の考えはあるのか。

答：解体後の跡地については、庁内のランドデザインの庁内会議等で検討していく。

● 新認定こども園建設工事の進捗状況について ●

～内容～

新認定こども園建設の進捗状況について報告を受けました。

工事の進捗率は1月現在で72%である。園舎外観工事が完了し、内装工事にあわせて電気機械設備工事を行っている。2月下旬に厨房機器や建具等を設置し、工期となる3月8日までに完成する。

今後のスケジュールは、5月頃から現在の総社保育所園舎の解体工事を行い、8月頃から新しいこども園の園庭整備を進めていく。周辺整備の道路拡幅工事については、現在中央小学校の敷地を活用して、長さ約15mの区間を車道と歩道を合わせ約1m広げ

る拡幅工事を行っている。3月中旬には完成する予定である。

井尻野幼稚園の園舎については、当初の計画では、建物の老朽化により耐震補強が必要となることから解体を予定していた。しかし、今後の活用方法について、地元管理で既存施設の有効活用や周辺住民の避難場所としても考えられるため、地元の人と相談しながら検討中である。

～質疑～

問：新認定こども園の特徴は何か。

答：建物の設備はバリアフリーでスロープを付け段差の解消をしている。また、1階の真ん中の部屋に遊戯室、ランチルームがあり、2階から見下ろせる。調理室は作っているところが見えるようにしている。

問：新認定こども園建設工事は、有利な合特併特例債を活用した事業で、解体までが一つの事業と聞いていた。解体しなくてもよいとはどういうことか。

答：合併特例債は非常に有利な起債で、解体しないとイケないのであれば、使いたいと考えていた。井尻野幼稚園を解体しないで残すことになれば耐震の改修が必要になる。その費用は何か財源を捻出しなければならない。

なお、旧井尻野幼稚園の活用については、後日所管事務調査をすることとなりました。